

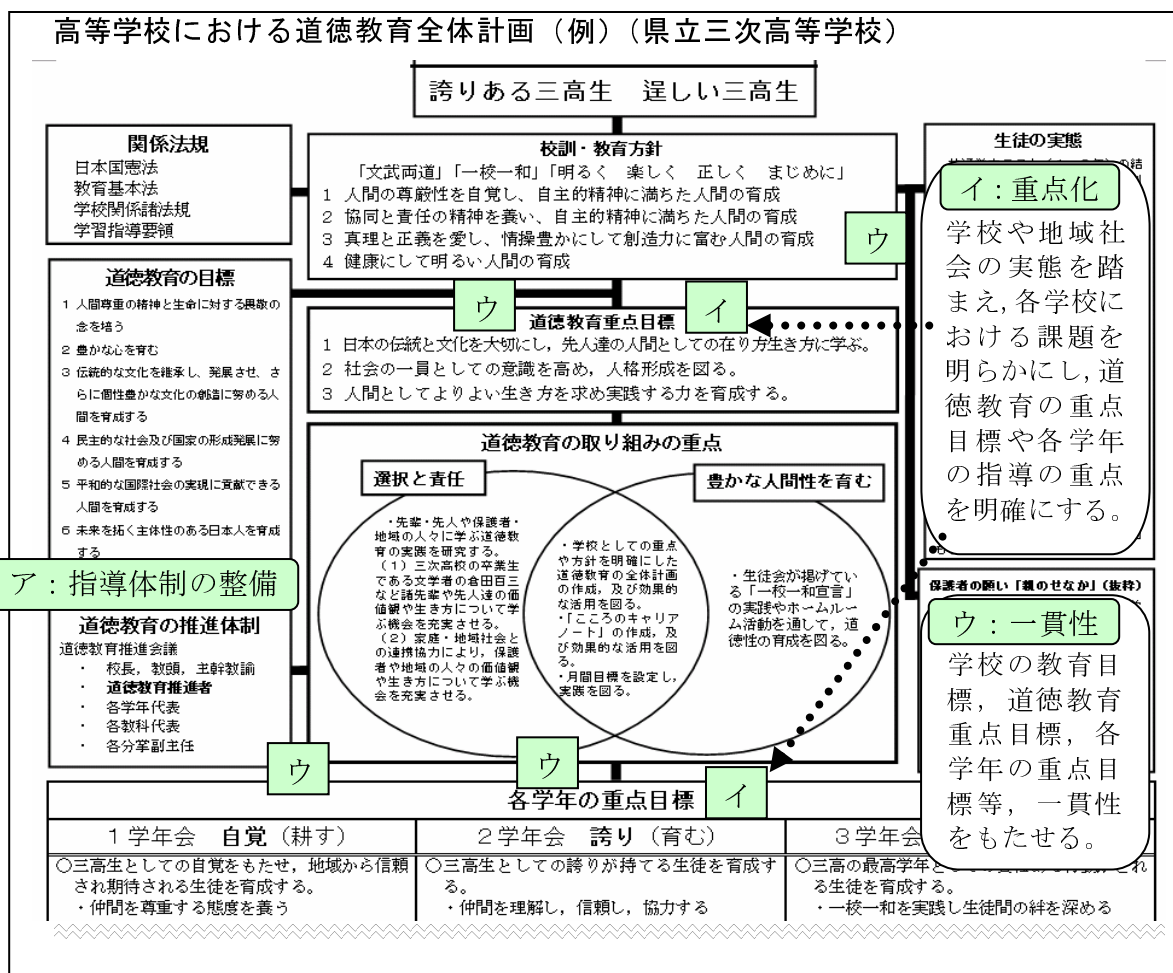
## 5 高等学校における道徳教育（平成 23 年度広島県教育資料から抜粋）

道徳教育は、豊かな心を持ち、人間としての在り方生き方の自覚を促し、道徳性を育成することをねらいとする教育活動であり、社会の変化に対応して生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割をもっている。

高等学校における道徳教育は、人間としての在り方生き方に関する教育であり、公民科やホームルーム活動を中心に各教科・科目等の特質に応じ学校の教育活動全体を通じて、生徒が人間としての在り方生き方を主体的に探求し豊かな自己形成ができるよう、適切な指導を行うことが求められている。

全教師が協力して道徳教育を展開するための道徳教育の全体計画については、新学習指導要領総則の先行実施に伴い、各校で既に作成されている。

今後は、より一層道徳教育を推進するために、全体計画の具体化や評価・改善が求められる。



### <全体計画の評価・改善の創意工夫（例）>

- ア 校長の方針の下に全教師の協力・指導体制の整備（分掌組織と連携）
- イ 各学校の特色を生かし重点的な道徳教育の展開
- ウ 全教師による一貫性のある道徳教育を推進